

## 胆振西部の小中学生野球チーム 元日ハム投手金村さんがヘッドコーチに

胆 振西部の小、中学生の2野球チームのヘッドコーチに就任した北海道日本ハムファイターズの元投手で、野球評論家の金村暁さんが、7月4日役場を訪れ、真屋町長に就任の挨拶を行いました。

就任したのは、洞爺湖町、壮瞥町、伊達市の小学生合同チーム「洞爺湖ブラッキーズ」と中体連後引退した西胆振の中学3年生が対象の「KB胆振ベースボールクラブ」。

少子化の影響で少年野球チームや部活動の休止が続く中で、関係者が金村さんに依頼し、快諾を得ました。金村さんは「まずは基本をしっかり指導し、将来日ハムで活躍する選手を育てたい」と決意を語りました。



チーム関係者と握手を交わす金村暁さん（中央）

7月5日、平成26年度馬頭観世音慰霊祭（同観世音碑保存協賛会



愛馬を偲び焼香する参加者ら

主催)が、大磯と歴史公園内の馬頭観世音碑前で行われました。

同公園内で催された式典には、保存協賛会の会員や元馬主、農協関係者ら約30人が参列。亮昌寺の笠谷僧侶による読経の中で、一人ひとりが焼香を行い、活躍してくれた愛馬の往年を偲びました。今年は、官営牧場の開設（1804年）から210年の節目に当たることから、最後に参加者全員で記念撮影に臨み式典を終了。

引続き、同協賛会の総会と懇親会が行われ、会員相互の交流を深めました。

## 愛馬の往年を偲ぶ 平成26年度馬頭観世音慰霊祭

洞 爺高校ととうや小学校との交流授業が、7月7日洞爺高校で行われ、同校2年生



いっしょに楽しくエコバックを作るとうや小の児童と洞爺高校生

23人が先生役となり、とうや小5、6年生23人を指導し、新聞紙を利用したエコバックを作り上げました。

異世代の交流を目的に、平成24年から、お菓子作りやミシンを使ってのエプロン作りを実施してきました。

今回は、13時20分～14時5分までの授業時間を使い、洞爺高校生が、マンツーマンで丁寧に指導し、縦約20センチ×横約30センチのエコバックを全員が時間内に完成させました。

## 異世代の交流 仲良くエコバックを完成

## 急増する中国人旅行者に対応 中国語講座開催

洞 爺湖町と洞爺湖日本中国友好協会（長崎良夫会長）が共催で、7月14日洞爺湖観光情報センターで、中国講座を初めて開催しました。

急増する中国人旅行者らに、おもてなしの心で対応しようと開かれたもので、講座には、ホテルや飲食店の関係者約20人が参加しました。

講師は、洞爺湖温泉観光協会の李慧敏さんと洞爺山水ホテル和風の劉松さん。

中国語のクイズの後、「こんにちは」「いらっしゃいませ」などの簡単な接客用の会話を、講師の二人に続いて繰り返し唱和し、基礎的な中国語を学びました。



中国語の挨拶などを習う講座参加者ら

# まちのわだい

